

# 株主・投資家の皆様へ (第82期報告書)

2020年4月1日～2021年3月31日

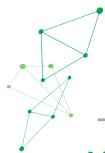


## S-LINEW NORMAL

躊躇することなく、常に新たなチャレンジを。

# 株式会社 エスライン

証券コード:9078



## ご挨拶・決算ハイライト



### 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2021年3月31日をもって、第82期事業年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに報告書をお届けし、事業の概況等につきまして、次のとおりご報告申し上げます。

運輸業界におきましては、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大防止策による経済活動の低迷により、大変厳しい状況が続いておりますが、さらなる企業価値向上に向け専心努力をいたす所存でございますので、株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長  
山口嘉彦



### 決算ハイライト

#### 営業収益

477億82百万円 前期比△2.5%

(単位：百万円)



#### 経常利益

16億29百万円 前期比54.0%

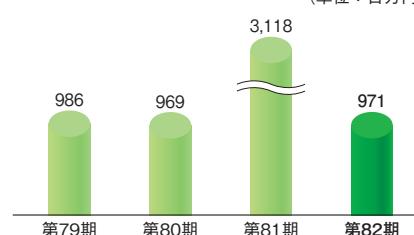
(単位：百万円)



#### 親会社株主に帰属する当期純利益

9億71百万円 前期比△68.9%

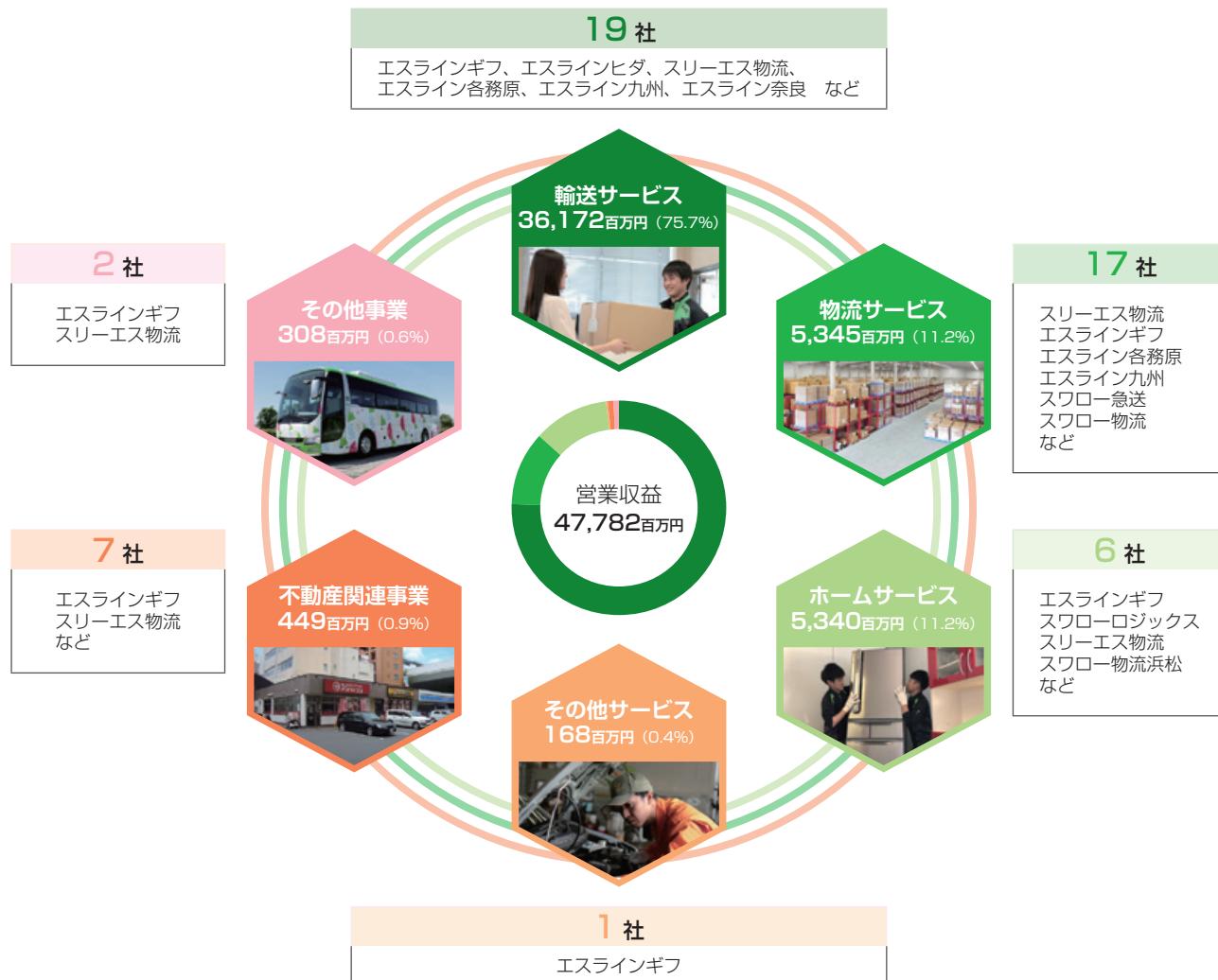
(単位：百万円)



- ✔ 新型コロナウイルス感染症の影響により、人と物の動きが大幅に制限され、経済活動が停滞
- ✔ 直接消費者に物を届けるEC物流は増加したものの、商業物流は物量が戻らず営業収益は減収
- ✔ 利益面では、グループ丸となって中期経営計画の経営目標の達成と企業価値の向上に向けて経費削減策等に取り組んだ結果、営業利益・経常利益は増益

## エスライングループ事業紹介

純粋持株会社である株式会社エスラインは、特色ある20のグループ会社を傘下に有し、物流関連事業（輸送サービス・物流サービス・ホームサービス・その他サービス）、不動産関連事業、その他事業を展開しており、グループ各社がそれぞれの得意分野を活かしながら有機的に結合し、企業価値の向上に向けて、グループ一丸となって取り組んでおります。





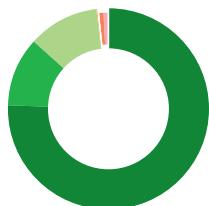
# セグメント情報



## 物流関連事業

470億24百万円 前期比△2.4%

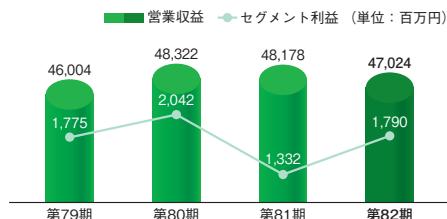
輸送サービス、物流サービス、ホームサービスなど



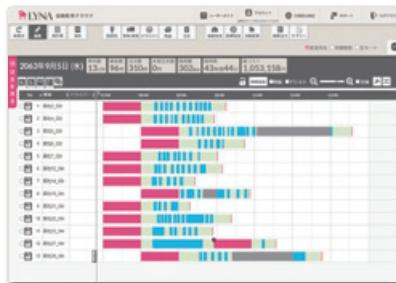
- ✓ 「輸送サービス部門」では、コロナ禍における外出制限の影響等により貨物輸送量が大幅に減少し、減収
- ✓ 「物流サービス部門」では、消費形態の変化による保管・加工業務の増加や、新物流センターの稼働開始により、増収
- ✓ 「ホームサービス部門」では、白物家電の買い替え需要や配送エリアの拡大、運賃は正効果等により、増収



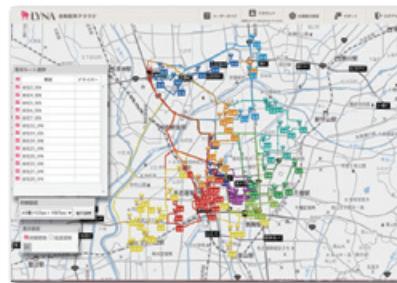
以上の結果、輸送サービス部門の減収を他の部門で補うまでには至らず、物流関連事業全体では、減収



小牧物流センター  
高速自動ソーター起動式



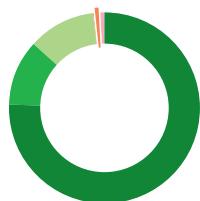
AI配車システム  
イメージ



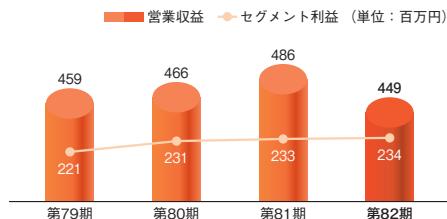
## 不動産関連事業

4億49百万円 前期比△7.6%

不動産賃貸業



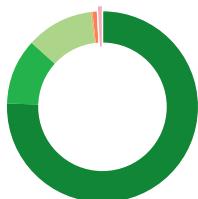
- ✓ 前期にエスラインギフが外部に賃貸していた東京都江東区の土地および建物を売却したことにより、賃料収入が減少し、減収



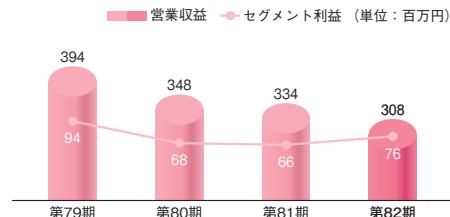
## その他事業

3億8百万円 前期比△7.7%

### 旅客自動車運送事業、売電事業

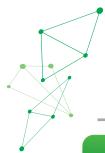


「旅客自動車運送事業」では、コロナ禍にあって、スクールバス等の定期運行は大きな影響はなかったものの、クラブ・サークル活動等の遠征や冠婚葬祭時の送迎等の業務が大幅に減少し、減収



## グループ会社一覧





## この一年の主な出来事



### 施設の建替

#### 川口支店事務所棟がリニューアルオープンしました。

エスラインギフ川口支店において、2020年2月より老朽化が進んでいた施設の建替を行っていましたが、第1期工事として事務所棟が完成しました。また、同居している家電配送を行う南埼玉センターの事務所・倉庫部分も同時に完成し、稼働を開始しております。

現在は、荷扱場（プラットホーム）と給油スタンドの建築を進めており、本年7月に全ての施設が完成する予定です。（延床面積5,569.92㎡）



エスラインギフ

### 地域貢献活動

#### 岐阜県物資搬送訓練に参加しました。

災害協定締結機関である岐阜県トラック協会からの要請で、岐阜県下で内陸地震が発生したと想定した、プッシュ型支援の実践訓練が実施されました。エスラインギフからは、4tトラック 2台を派遣し、災害対策本部からの出動要請に基づいて、緊急物資の輸送受入と搬送訓練を行いました。



エスラインギフ

### 施設の建替

#### 栗東支店がリニューアルオープンしました。

エスラインギフ栗東支店が、既存の施設に比べ、荷扱場（プラットホーム）の面積が約2.2倍となって新築移転しました。荷捌きスペースの拡大によって、一度に大量の荷物を方面別に仕分けて全国発送を行うことができるようになるなど、より一層充実したサービスをご提供できる施設となりました。（延床面積1,978.15㎡）



エスラインギフ

2020

4

5

5/8  
決算発表

6

6/26  
定時株主総会

7

8

8/6  
第1四半期  
決算発表

9

### 施設の新設

#### 愛知県一宮市に物流センターがオープンしました。

スリーエス物流において、愛知県一宮市に、物流センター（第3物流センター）が新築オープンしました。この施設は、既設の物流センターの機能とは異なり、多品種の商品を荷受けし、直ちに需要先に配送する「クロストック(XD)およびディストリビューションセンター(DC)」機能を持っております。また、名神高速や名古屋高速に隣接していることから、交通アクセスの利便性も活かして、より質の高い業務を行っていきます。（事務所3階建、倉庫2階建・延床面積11,621.90㎡）



スリーエス物流

### 施設の新設

#### 岐阜県郡上市に倉庫がオープンしました。

エスライン郡上において、岐阜県郡上市に、倉庫（大和倉庫）が新築オープンしました。この施設は、岐阜県郡上地区のお客様の荷物をデパニングから保管・全国配送まで一括して請け負い、お客様に最適な物流ソリューションをご提供できる施設となっております。今後は、保管能力の向上に加え、既設の施設との連携によって、これまで以上にお客様の多様なニーズにお応えしていきます。（平屋建・延床面積1,405.25㎡）



エスライン郡上

## 施設の新設

## 愛知県大口町に物流センターがオープンしました。

エスラインギフ・エスライン各務原において、愛知県大口町に、物流センター(小牧物流センター)が新築オープンしました。この施設は、エスライングループ初となる、グループ会社2社の協業施設となっております。

さらに、グループ初の企業内保育所を設置し、また加工場に自動ソーターを設置するなど、ソフト面・ハード面の両面から、業務の効率化と省力化、生産性の向上、雇用の確保を図ることはもちろんのこと、社員が働きやすい職場作り・環境作りにも注力をいたしました。

今後は、両社の得意分野を活かしながら、お互いの社員が連携をとり、効率的に業務を行うことで、お客様へあらゆる物流ソリューションをご提供できる複合施設を目指していきます。

(事務所5階建、倉庫3階建・延床面積9,852.61㎡)



グループ初となる  
企業内保育所も設置

エスラインギフ・エスライン各務原

10

11

11/6  
第2四半期  
決算発表

12

2021

1

2

2/10  
第3四半期  
決算発表

3

## 施設の新設

## 岐阜県岐南町に倉庫を新築します。

エスラインミノにおいて、岐阜県岐南町に、2棟の倉庫を新築しています。各地方向けの配送に最適な立地ということに加え、この施設には、保管・加工スペースだけでなく、両倉庫間で機能的・効率的に商品の積み下ろしを行うことができるスペースが設けられております。完成後は、エスラインギフが住宅向け外壁材・屋根材の保管・加工・配送業務を行う拠点として、本年8月から稼働を開始する予定です。

(平屋建・A棟 延床面積1,578.72㎡ B棟 延床面積1,294.80㎡、2021年7月完成予定)



エスラインギフ・エスラインミノ

## IR活動

## 名証IRセミナー オンラインに参加しました。

名古屋証券取引所主催の、IRセミナーオンラインにて個人投資家向けの企業説明会に参加しました。毎年参加している名証IRエキスポに代わるオンラインでの企業のIRの場として、およそ1時間にわたり企業説明と対談・質問コーナーを配信しました。

オンラインでの参加は初めてでしたが、今まで会場へ足を運ぶことができなかった株主様にも配信することが可能となりました。

今後も、会場開催だけでなく、オンライン開催のIRイベントにも継続して参加していきたいと考えております。



エスライン



# 小牧物流センターオープン

## 東海地区最大級の自動ソーターシステム

業務効率・生産性向上を実現し、お客様の物流ソリューションを強力にサポート



仕分スピード 10,000個/時

入庫



お客様のシステムから入手した仕分データをバーコードで読み取り、商品を自動ソーターへ投入。

1



自動ソーターで商品を各店舗向けの落とし口へ搬送。

落とし口  
200ヶ所

2

仕分



落とし口に設置された出荷用ダンボールに商品が自動で投入。

異物混入  
リスクの  
低減

3



出荷用ダンボールは、自動で封緘・ラベル貼りが施され、出荷。

省力化  
を実現

4

出庫

## 中期経営計画

# 中期経営計画「“エスラインブランドの価値向上” Think next Value」 2020年3月期～2022年3月期（3か年）

### 基本方針

輸送ネットワークと拠点物流サービスを人材・品質・技術で強化拡充する

#### 経営戦略の体系

1. 事業構造の改革
  - ・輸送サービスの充実
  - ・物流サービスの拡大
  - ・ホームサービスの成長

2. 働き方改革・人事制度の確立

3. ESGへの取り組み

組織体制の改革・人材確保と育成・営業サービスの強化  
業務の効率化と生産性向上・先進技術の導入

### 経営目標

#### 2022年3月期（最終年度）

営業収益	560億円
経常利益	25億7千万円
ROE	6.5%
自己資本比率	50%以上

### 今期の取り組み事項

#### 輸送サービスの充実

- ・物流開発部の立ち上げ（貸切・専門輸送・国際物流・引越等を専門的に行う部署の立ち上げ）
- ・中部地区における「配車センター」「コンテナセンター」の開設（中部地区ドミナント戦略）

#### 物流サービスの拡大

- ・小牧物流センターの本格稼働（物流センターの上層階で商品保管と自動ソーターによる物流加工業務を行い、その商品を1階から特積み輸送や貸切輸送につなげる）

#### 働き方改革

- ・IT機器・マテハン機器の導入による効率化の推進  
通信型デジタルタコグラフ・AI配車システム等のIT機器や自動ソーター等のマテハン機器の積極導入による効率化・生産性の向上
- ・人材育成の強化  
管理職員を対象とした強化プログラム教育の実施  
学卒社員を対象とした運転免許取得支援制度の拡充

### 基本戦略

#### ■事業構造の改革

- グループネットワークを活かした事業を、戦略的連携により展開します。
- 収益構造を変革し、営業利益の向上を図ります。



#### 『エスラインブランド』の価値向上

##### 事業構造の構築

- ・事業特性を更に発展させる新たなグループ連携体制の構築
- ・共通機能の組織の強化（事業企画、マーケティング、業務オペレーション等）  
→社会環境や経済情勢への変化に迅速、且つ、柔軟に対応

##### 事業戦略室の役割

- ・新事業の調査と企画
- ・事業連携の強化支援
- ・先進技術の導入による安全と品質の向上と業務の効率化
- ・人材の確保と育成
- ・働き方改革の推進と人材活用
- ・社員の意識改革の促進
- ・社内風土の醸成を図るための企業環境の整備
- ・稼働後の事業評価



<先進技術とは>  
車載端末、ドライバー情報端末、マテハン、RPA、AI活用、IoT、高速通信網、画像認識、バイタルデータ分析等



# 財務データ

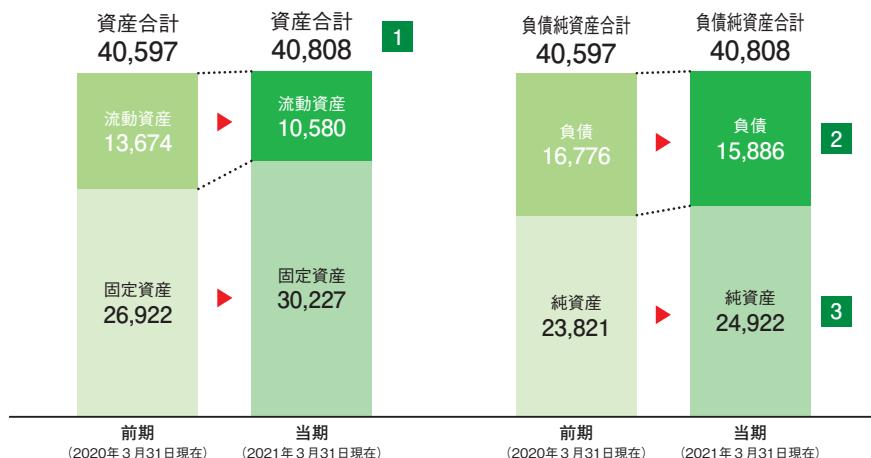
決算短信などの詳細情報は

エスライン IR

検索

## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## ポイント

### 1 資産

連結資産合計は408億8百万円（前連結会計年度末405億97百万円）となり、前連結会計年度末比2億11百万円増加しております。この主な要因は、有形固定資産の取得による増加とそれに伴う現金及び預金の減少であります。

### 2 負債

連結負債合計は158億86百万円（前連結会計年度末167億76百万円）となり、前連結会計年度末比8億89百万円減少しております。この主な要因は、借入金の返済による減少であります。

### 3 純資産

連結純資産合計は249億22百万円（前連結会計年度末238億21百万円）となり、前連結会計年度末比11億円増加しております。この主な要因は、利益剰余金の増加とその他の有価証券評価差額金の増加によるものであります。

### 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

27億22百万円の収入（前期は22億83百万円の収入）となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益と減価償却費の計上であります。

### 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

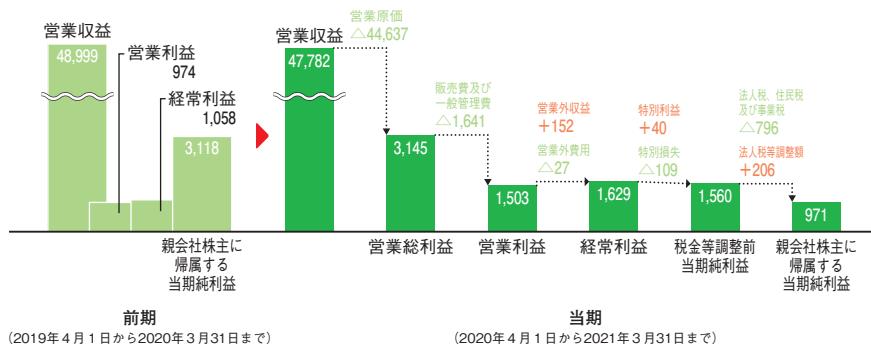
41億61百万円の支出（前期は7億91百万円の収入）となりました。この主な要因は、固定資産の取得による支出であります。

### 6 財務活動によるキャッシュ・フロー

15億90百万円の支出（前期は5億41百万円の支出）となりました。この主な要因は、借入金の返済と配当金の支払による支出であります。

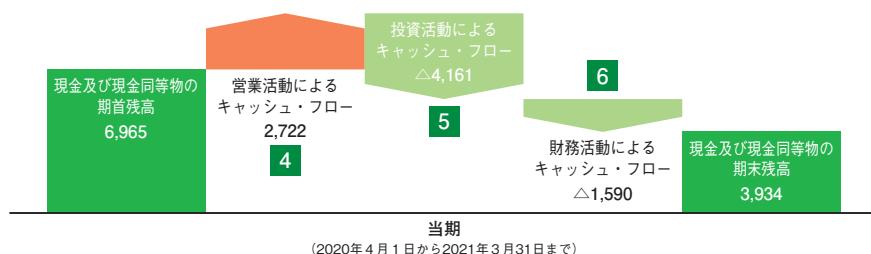
## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)





## 会社情報・株式の状況

### 会社概要 (2021年3月31日現在)

社名	株式会社エスライン
英文社名	S LINE CO.,LTD.
設立	1947年3月10日
資本金	22億3,773万1,515円
上場取引所	東京・名古屋証券取引所 市場第一部
本社所在地	岐阜県羽島郡岐南町平成四丁目68番地 電話 (058) 245-3131 (代表)
従業員数	2,149名 (連結)

### 株式の状況

発行可能株式総数	40,847,000株
発行済株式の総数	11,095,203株
株主数	8,041名

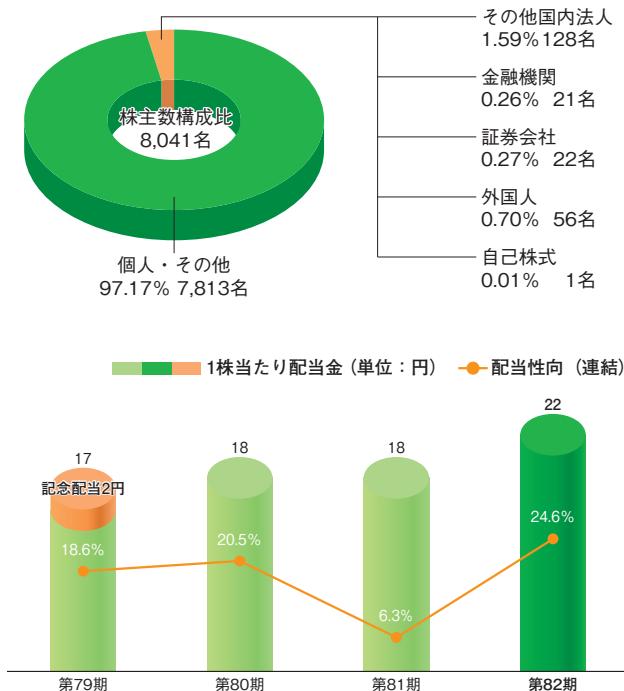
### 大株主の状況 (上位10名)

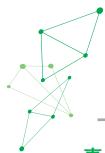
株主名	持株数 千株	持株比率 %
有限会社美美興産	1,323	12.05
株式会社大垣共立銀行	500	4.56
みずほ信託銀行株式会社	500	4.55
株式会社十六銀行	493	4.50
株式会社三菱UFJ銀行	385	3.50
王子運送株式会社	364	3.32
明治安田生命保険相互会社	363	3.31
エスライン従業員持株会	350	3.19
株式会社市川工務店	320	2.91
村瀬博三	296	2.70

### 役員 (2021年6月29日現在)

代表取締役社長	山口 嘉彦
取締役	堀江 繁幸
取締役	白木 武
取締役	青木 浩一
取締役	加藤 孝一
取締役	笠井 大介
取締役	村瀬 光明
取締役 (常勤監査等委員)	村瀬 明治
社外取締役 (監査等委員)	中村 源次郎
社外取締役 (監査等委員)	岡本 実

### 株式分布状況





## 株主メモ



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	期末配当 毎年3月31日、中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="http://sline.co.jp/">http://sline.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。  みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※) およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

## 株主優待制度について

- 対象となる株主様  
毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上を保有する株主様を対象といたします。
- 贈呈品  
①当社株式保有年数が3年未満の場合 クオカード (1,000円分) 1枚  
②当社株式保有年数が3年以上の場合 クオカード (2,000円分) 1枚  
※「当社株式保有年数が3年以上の場合」とは、株主様が同一の株主番号で2018年3月31日の株主名簿から2021年3月31日までの中間期・期末期株主名簿に記載または記録されていることをいいます。
- 贈呈時期  
毎年、定時株主総会終了後の6月下旬に、「定時株主総会決議ご通知」とともにお送りいたします。



クオカードデザイン

## 「働きやすい職場認証制度」の認証を取得しました

エスライングループでは、このたび事業会社15社(74事業所)において、「働きやすい職場認証制度」の認証(1つ星)を取得いたしました。「働きやすい職場認証制度」とは、自動車運送事業者の職場環境改善に向けた取組みを「見える化」することで、当業界におけるイメージを刷新し、「求職者」の運転者への就職を促進することを目的として、国土交通省において創設された認証制度です。



【認証マーク】

今後は、厚生労働省との連携により、ハローワークにおける求人票への記載等も検討されていく予定となっております。エスライングループでは、これからも働きやすい労働環境の実現に向け尽力してまいります。

## 株式会社 エスライン

〒501-6013 岐阜県羽島郡岐南町平成四丁目68番地  
TEL : 058-245-3131 FAX : 058-240-4850  
<http://sline.co.jp/>  
当社ウェブサイトも、ぜひご覧ください。

エスライン

検索

